



にじのはし幼稚園 園だより



令和5年12月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 石川典子



2学期最後の月となりました。12月の教育日数は17日です。短い中にも、にじっこ劇場や餅つきなど、保護者がお子さんの成長を感じられる行事や、子どもたちが年末の日本の伝統行事を体験する機会があります。子どもも大人も楽しい12月です。

先月は「おはなし会」を開催しました。講師は、本園 学校運営協議会委員で地域にお住まいの河野さんです。大型絵本やエプロンシアター、手袋人形シアターなど、幼児の興味や時季に合った様々な楽しいお話に、子どもたちはイメージを膨らませながら物語の世界に浸っていました。子どもたちは“お話”が大好きです。

園では毎日、絵本や紙芝居、パネルシアターなどで読み聞かせやお話をしています。子どもたちは話を聞きながら、自分の頭で思考したり想像したりすることを楽しんでいきます。物語のストーリーから日常生活ではできないことを体感したり、登場人物を通して自分とは違う思いに触れたりしながら、自己の内的世界を広げています。物語の内容を幼児が自分の中に取り入れながら、自分自身を素晴らしいと思える、自分をポジティブに認めることができる自尊体験につながっています。また、日常では使ったり聞いたりしない言葉や言い回し、昔言葉や方言は、子どもたちにとって新鮮です。音やリズムの楽しさ、面白さ、心地よさを感じ、同じように口ずさんだり、気に入ったフレーズを繰り返し言ったりし、言葉への興味や関心を高めています。多様なお話や語り手の表現を見聞きし、子ども自身の表現が豊かになり、他者とのコミュニケーションを楽しんでいます。

もうすぐ冬休みです。保護者の方による読み聞かせをおすすめします。親子で一緒にお話の世界を楽しみ、面白さ、不思議さ、感動など、様々な感情を親子で分かち合ってください。親子で物語の雰囲気を感じ合う「共感体験」は、お子さんの幸福感につながります。



今学期も園の教育へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。



よい冬休みをお過ごしください。

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(4)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

③絵本や物語に親しみ、言葉に興味・関心がもてるよう、日常的な読み聞かせやパネルシアター等に加え、多様な題材や語りに触れることができるよう「おはなし会」を開催します。

